令和８年度

（令和７年度実績）

事　業　概　要

新　潟　県

長岡食肉衛生検査センター

目　　次

第 1 章　食肉衛生検査センターの概要……1
1　沿革
2　組織及び所管施設
3　配置図
4　庁舎
5　検査手数料

第 2 章　と畜検査業務…… 6
1　と畜場
2　検査頭数
3　検査頭数の推移
4　とさつ禁止及び廃棄状況
5　畜種別疾病発生状況
6　ＴＳＥ検査状況
7　と畜場衛生指導状況

第 3 章　食鳥検査業務……9
認定小規模食鳥処理場の概要と衛生指導状況

第 4 章　精密検査業務……10
1　試験室内における精密検査状況
2　微生物学的検査状況
3　病理組織学的検査状況
4　理化学的検査状況
5　基礎調査及び事例検討のための検査状況
6　簡易検査法による残留抗菌性物質検査状況
7　分別推定法による残留抗菌性物質検査状況
8　残留有害物質モニタリング検査状況
9　微生物汚染等検査状況

第 5 章　調査研究事業……13

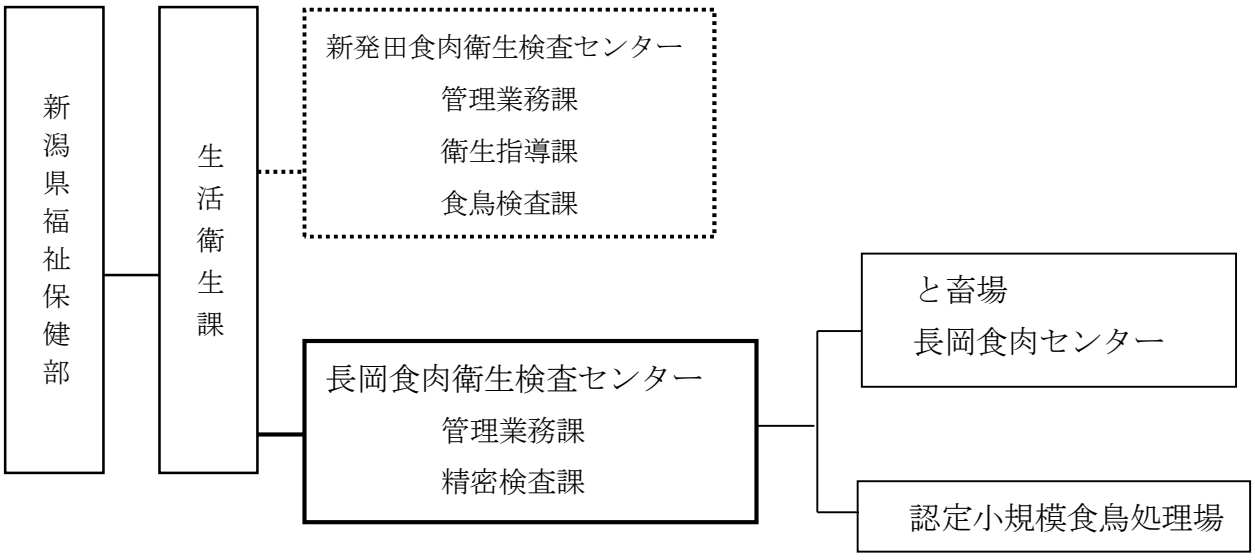
第１章　食肉衛生検査センターの概要

１　沿革

昭和37年10月　長岡市枝肉センターが開設、長岡保健所が所管
昭和40年 4月　長岡と畜衛生検査所が設置、長岡市枝肉センターを所管
昭和42年 4月　と畜衛生検査所が食肉衛生検査所に名称変更
昭和43年 4月　と畜場の近代化と衛生確保のため、と畜場32か所の「と畜場整備3か年計画」提示
昭和45年 4月　長岡食肉衛生検査所が魚沼食肉センターを所管
昭和49年 4月　食肉衛生検査体制強化のため、食肉衛生検査所が設置
本所（新津）3支所（新発田・長岡・上越）6駐在所（三条・両津・村上・堀之内・十日町・柏崎）体制により、県内と畜場の食肉衛生検査業務を一元化
昭和51年 4月　長岡市枝肉センターが長岡市新開町に移転、長岡市営食肉センターとして開業
昭和51年11月　食肉衛生検査所長岡支所新庁舎が竣工
平成 5年 3月　新潟県枝肉センターが廃業、食肉衛生検査所組織が再編成
平成 5年 4月　検査所組織再編成により、食肉衛生検査センターが新発田市、食肉衛生検査センター長岡検査所が長岡市に設置、上越支所及び堀之内駐在所が上越保健所及び小出保健所に移管
食鳥検査業務（認定小規模食鳥処理場の監視指導）が食肉衛生検査センター及び食肉衛生検査センター長岡検査所で開始
平成17年 4月　設置条例の改正に伴う検査所組織改革により、食肉衛生検査センターが新発田食肉衛生検査センターに、食肉衛生検査センター長岡検査所が長岡食肉衛生検査センターに再編成

２　組織及び所管施設

新潟県が設置する食肉衛生検査センターには、長岡食肉衛生検査センターのほかに新発田食肉衛生検査センターがある。



(1) 職員構成（令和８年４月１日）

区分	技術職員 （獣医師）	技術職員 （獣医師以外）	事務職員	会計年度 任用職員	計
所 長	1 精密検査課長兼務	0	0	0	1
次 長	1 管理業務課長兼務	0	0	0	1
管理業務課	4	0	1	1 （検印補助）	6
精密検査課	2	2	0	0	4
計	8	2	1	1	12

(2) 所掌業務

管理業務課

ｱ 庶務全般に関する事項

ｲ と畜検査に関する事項

ｳ と畜場での家畜伝染病防疫に関する事項

ｴ と畜場及び併設食肉処理施設の衛生指導に関する事項

精密検査課

ｱ 精密衛生検査に関する事項

ｲ 食鳥肉の衛生検査に関する事項

ｳ 調査研究に関する事項

3　配置図



● 食肉衛生検査センターが所管する一般と畜場

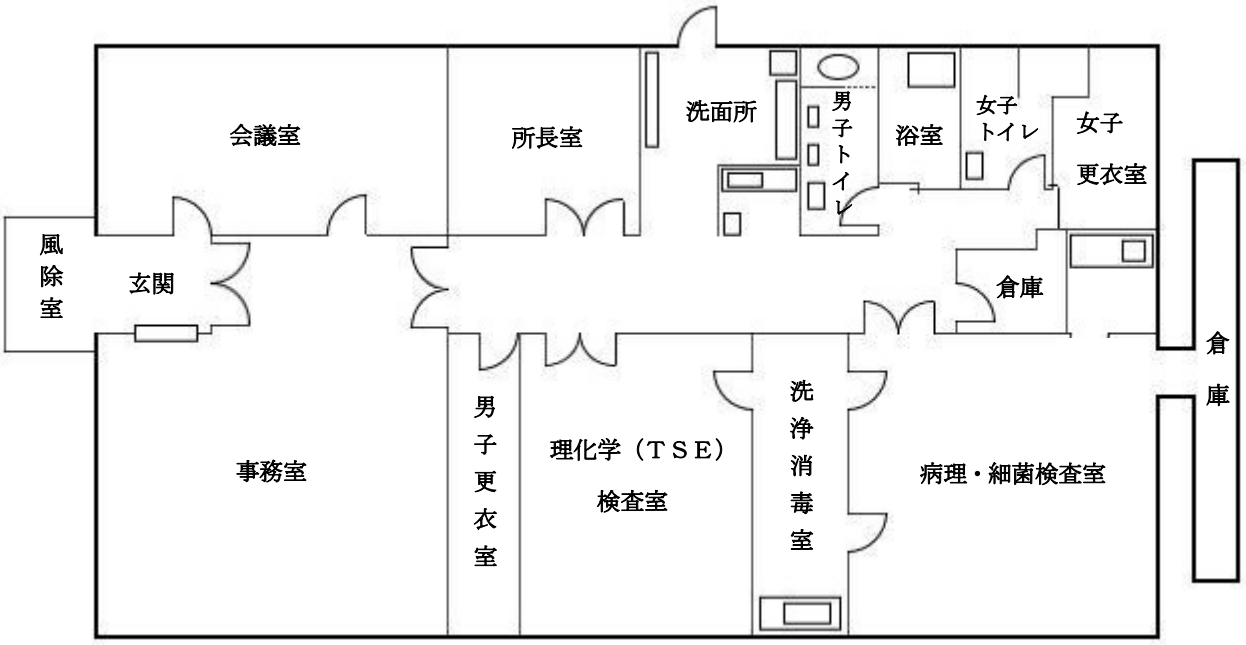
□ 新潟市（政令指定都市）が所管する一般と畜場

▲ 大規模食鳥処理場

新潟県内の各食肉衛生検査センター及び食肉衛生検査所はそれぞれ所管すると畜場内に併設

４　庁舎

長岡食肉衛生検査センター　平面図



庁舎の構造・面積

	長岡食肉衛生検査センター
事　務　室	64.5 ㎡
所　長　室	18.0 ㎡
会　議　室	32.8 ㎡
理化学検査室	35.1 ㎡
病理・細菌検査室	51.5 ㎡
洗浄消毒室	13.0 ㎡

5　検査手数料

（1）と畜検査手数料（1頭当たり）

畜種	牛	とく	馬	豚	めん羊	山羊
金額	1,200円	400円	1,200円	400円	400円	400円

（2）その他の手数料

名称	手数料
一般と畜場設置許可申請手数料	23,300円
簡易と畜場設置許可申請手数料	10,200円
認定小規模食鳥処理業者の確認規程認定申請手数料	6,000円
認定小規模食鳥処理業者の確認規程変更認定申請手数料	2,400円

第２章　と畜検査業務

１　と畜場

名称	と畜場番号	開設年月日	運営主体 と畜場所在地	一日処理能力（頭）	汚水処理施設（１日能力㎥）
長岡食肉センター	4	H31.4.1	株式会社長岡食肉センター 長岡市新開町 3073-3 TEL　0258-27-5923	大動物　30 小動物　600	750

参考

しばたパッカーズ株式会社	1	H26.10.15	しばたパッカーズ株式会社 新発田市奥山新保 427 TEL　0254-22-2334	小動物 1,000	1,000
新潟市食肉センター	101	H5.4.1	公益財団法人 新潟ミートプラント （設置主体　新潟市） 新潟市西区中野小屋 1631 TEL　025-261-2100	大動物　30 小動物　900	1,200

２　検査頭数（令和７年度）

と畜場＼畜種	牛	とく	馬	豚	めん羊	山羊	合計
長岡食肉センター	1,729	76	0	64,486	0	0	66,291

参考

しばたパッカーズ株式会社	0	0	0	169,435	0	0	169,435
新潟市食肉センター	867	2	0	186,440	16	4	187,329

３　検査頭数の推移（過去５年間）

種　類	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
牛	1,099	1,240	1,585	1,491	1,729
とく	0	23	58	102	76
馬	0	0	0	0	0
豚	77,964	78,953	76,691	67,296	64,486
合　計	79,063	80,216	78,334	68,889	66,291

4　とさつ禁止及び廃棄状況（令和７年度）

疾病名 / 検査頭数		牛			とく			豚		
		1,729			76			64,486		
		禁止	全部廃棄	一部廃棄	禁止	全部廃棄	一部廃棄	禁止	全部廃棄	一部廃棄
処分実頭数		0	13	1,110	0	0	64	0	105	60,791
細菌病	炭疽	0	0		0	0		0	0	
	豚丹毒							0	3	
	サルモネラ症	0	0		0	0		0	0	
	結核	0	0		0	0		0	0	
	ブルセラ症	0	0		0	0		0	0	
	破傷風	0	0		0	0		0	0	
	放線菌病		0	1		0	0		0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウイルス･リケッチア病	豚熱							0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原虫病	トキソプラズマ症	0	0		0	0		0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寄生虫病	のう虫病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジストマ病		0	0		0	0		0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の疾病	膿毒症	0	1		0	0		0	35	
	敗血症	0	3		0	0		0	28	
	尿毒症	0	0		0	0		0	0	
	黄疸	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	水腫	0	1	11	0	0	0	0	0	28
	腫瘍	0	7	2	0	0	0	0	2	1
	中毒諸症	0	0		0	0		0	0	
	炎症又は炎症産物による汚染		0	1,031		0	63		1	60,770
	変性又は萎縮		0	245		0	1		36	370
	その他	0	0	21	0	0	4	0	0	746
総数		0	13	1,312	0	0	68	0	105	61,915

5　畜種別疾病発生状況（令和７年度）

畜種	牛	とく	豚
検査頭数	1,729	76	64,486
疾病頭数	1,110	64	60,791
カタル性肺炎	125	47	59,512
その他の肺炎	0	0	1,829
肺膿瘍	13	2	390
胸膜炎	569	23	16,151
胸膜膿瘍	2	1	60
心外膜炎	79	4	3,491
心筋炎	21	0	14
疣状心内膜炎	0	0	15
肝包膜炎	93	5	4,425
肝膿瘍	45	2	11
肝硬変	2	0	46
肝炎	65	4	522
肝脂肪変性	8	0	129
肝蛭症	0	0	0
寄生虫性肝間質炎	0	0	1,482
鋸屑肝	194	0	0
肝富脈斑	81	0	0
胃炎	4	0	36
腹膜炎	25	1	4,186
小腸炎	19	1	1,929
大腸炎	4	2	430
腸気泡症	0	0	17
リンパ節膿瘍	1	0	75
腸間膜リンパ節乾酪変性	0	0	342
ヘルニア	3	0	227
腎炎	29	0	165
嚢胞腎	5	0	372
尿石症	35	0	24
膀胱炎	158	6	585
子宮内膜炎	36	0	183
乳房炎	3	0	7
皮下炎症	119	1	853
筋膿瘍	9	1	281
筋炎	43	1	220
膠様浸潤	19	1	3
脂肪壊死	108	0	1
関節炎	22	2	153
関節膿瘍	1	0	12
骨膿瘍	7	0	252
脱臼	3	0	2
骨折	3	1	133
外傷	4	0	2
奇形	3	3	16
黄疸	2	0	0
腫瘍	9	0	3
水腫	12	0	28
熱性諸症	0	0	0
その他の炎症	76	7	193
その他の変性	16	0	235
その他の寄生虫病	0	0	0

6　ＴＳＥ検査状況（令和７年度）

畜種		頭数
牛	乳用種	0
	肉用種	0
合計		0

7　と畜場衛生指導状況（令和７年度）

（１）会議・講習会

実施内容	実施回数	対象者	延べ参加人数
と畜場従業員との衛生検討会議	12	と畜場従業員	54
と畜場従業員に対する衛生講習会	1	と畜場従業員	16

（２）外部検証

項目	実施回数
現場での衛生管理の実施状況の確認	243
衛生管理の実施記録の確認	12
枝肉の切り取り検査等による衛生監視※	26

（３）その他

実施内容	実施回数
製品の出荷作業及び運搬車両の衛生状況の確認	6

※　検体及び検査項目については第４章の９微生物汚染等検査状況に記載

第３章　食鳥検査業務

認定小規模食鳥処理場の概要と衛生指導状況（令和７年度）

処理場数	食鳥の種類	処理羽数	廃棄羽数		監視件数	拭き取り検査等による衛生監視日数※
			全部	一部		
1	ブロイラー	38,974	0	21	5	5

※　検体及び検査項目については第４章の９微生物汚染等検査状況に記載

第４章　精密検査業務

１　試験室内における精密検査状況（令和７年度）

対象	畜種	検温・血液検査		微生物学的検査		病理組織学的検査		理化学的検査		合計	
		頭数	件数	頭数	件数※1	頭数	件数※2	頭数	件数	頭数	件数
異常畜	牛	0	0	2	19	4	28	1	2	7	49
	豚	1	1	41	369	4※3	39	0	0	46	409
病　畜	牛	63	186	2	20	5	33	8	8	78	247
	豚	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
小　計	牛	63	186	4	39	9	61	9	10	85	296
	豚	2	2	41	369	4	39	0	0	47	410
合　計		65	188	45	408	13	100	9	10	132	706

※1　微生物学的検査件数＝培養臓器数

※2　病理組織学的検査件数＝検索検体数

※3　組織学的検査は実施せず、臓器等の肉眼的検査のみ実施

２　微生物学的検査状況（令和７年度）

畜種	頭数	細菌分離頭数	分離・同定細菌別頭数							培養臓器数
			グラム陽性球菌		グラム陽性桿菌		グラム陰性桿菌		他	
			Streptococcus suis	*Streptococcus (S. suis 以外)*	*Erysipelothrix rhusiopathiae*	*Trueperella pyogenes*	*Actinobacillus pleuropneumoniae*	*Escherichia Coli*		
牛	4	3	0	0	0	2	0	0	1	39
豚	41	33	7	3	3	12	1	2	5	369
合　計	45	36	7	3	3	14	1	2	6	408

3　病理組織学的検査状況（令和７年度）

畜種	頭数	診断結果					検索検体数
		牛伝染性リンパ腫	全身性腫瘍（リンパ腫）	限局性腫瘍（神経内分泌腫瘍）	腎炎	限局性非定型抗酸菌症※	
牛	9	7	0	1	1	0	61
豚	4	／	2	0	0	2※	39
合計	13	7	2	1	1	2	100

※組織学的検査は実施せず、臓器等の肉眼的検査のみ実施

4　理化学的検査状況（令和７年度）

畜種	頭数	総ビリルビン値（mg/dL）		血清尿素窒素値（mg/dL）		検査件数
		2.0 未満	2.0 以上	100 未満	100 以上	
牛	9	3	1	6	0	
豚	0	0	0	0	0	
合計	9	3	1	6	0	10

「高度の黄疸」判定の目安：血清総ビリルビン値 2.0 mg/dL 以上

「尿毒症」の判定の目安：血清尿素窒素値 100 mg/dL 以上

5　基礎調査及び事例検討のための検査状況（令和７年度）

畜種	微生物学的検査		病理組織学的検査		病理解剖学的検査		理化学的検査		合　計	
	頭数	件数	頭数	件数	頭数	件数	頭数	件数	頭数	件数
牛	15	30	2	2	2	2	0	0	19	34
豚	15	30	31	178	7	7	0	0	53	215
鶏	6	12	0	0	0	0	0	0	6	12
合計	36	72	33	180	9	9	0	0	78	261

6　簡易検査法による残留抗菌性物質検査状況（令和７年度）

区　　分		牛	豚	合計
異常畜	検査頭数	6	43	49
	陽性頭数	0	0	0
病畜	検査頭数	60	2	62
	陽性頭数	0	0	0
合計	検査頭数	66	45	111
	陽性頭数	0	0	0

7　分別推定法による残留抗菌性物質検査状況（令和７年度）

畜種	検査頭数	陽性頭数
牛	0	0
豚	0	0
合計	0	0

8　残留有害物質モニタリング検査状況（令和７年度）

畜種	検査 頭羽数	抗生物質製剤 検査件数	合成抗菌剤 検査件数	総検査 件数
牛	12	14	4	18
豚	38	37	10	47
鶏	4	1	8	9
合 計	54	52	22	74

9　微生物汚染等検査状況（令和７年度）

検査目的	畜種	検体名	検体数	実施検査項目						
				一般細菌	腸内細菌科菌群	大腸菌群	大腸菌	腸管出血性大腸菌	サルモネラ	カンピロバクター
衛生指導	牛豚	施設・設備等	14	14	14					
		枝肉輸送車	14	14		14	14			
	牛	牛枝肉	38					38		
	鶏	とたい	27	27	27				27	27
		食鳥肉	12	12	12				12	12
		施設・設備等	4	4	4				4	4
外部検証	牛	牛枝肉	60	60	60					
	豚	豚枝肉	60	60	60					
合　計			229	177	177	14	14	38	43	43

第５章　調査研究事業

１．と畜検査における敗血症疑いの保留基準の検討について

令和７年度 食肉衛生検査職員研修会 令和７年６月 18 日

令和７年度 関東甲信越ブロック食肉衛生検査所協議会業績発表会 令和７年 10 月 24 日

令和７年度 食肉及び食鳥肉衛生研究発表会 令和８年１月 22 日、23 日

○笠原 慎平、齊藤 こずえ、猪又 明日香、後藤 こず恵

２．豚の疣贅性心内膜炎の発生状況及び病理組織学的分類

令和７年度 食肉衛生検査職員研修会 令和７年６月 18 日

○齊藤 こずえ、後藤 こず恵、猪又 明日香

３．管内と畜場に搬入される豚のと畜検査成績と枝肉格付成績の相関について

令和７年度 食品衛生監視員・環境衛生監視員合同研修会 令和８年２月６日

○渡邉章子、唐沢一宏

令和８年度事業概要
（令和７年度実績）

令和８年 10 月発行

発行者　新潟県長岡食肉衛生検査センター
〒940-2464
新潟県長岡市新開町 2956-11
TEL　0258-27-6508
FAX　0258-27-9313
E-mail　ngt042030@pref.niigata.lg.jp
HP　https://www.pref.niigata.lg.jp/site/nagaokakensa/